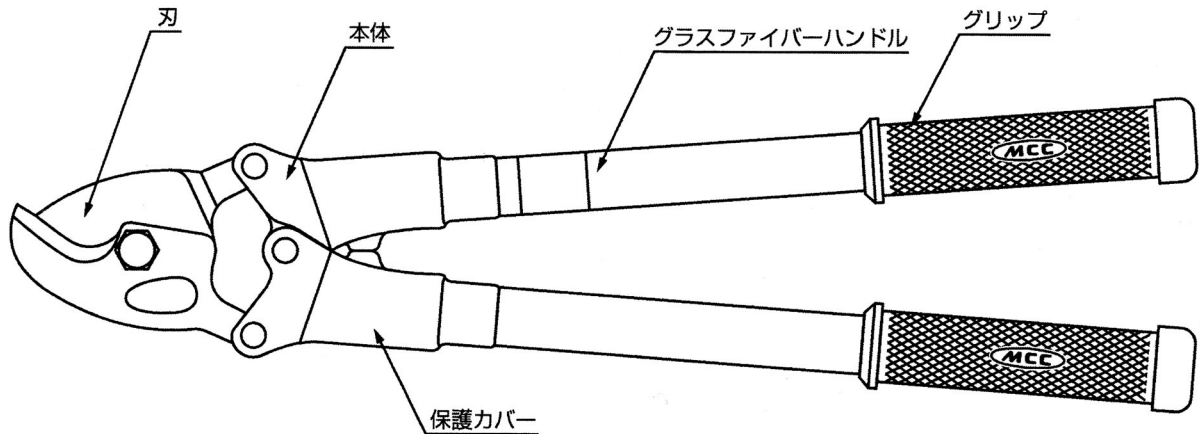


## ■各部の名称



## ■操作方法

### ●作業を行われる前に

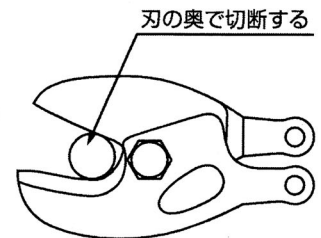
- ①活線ケーブルカッターを準備して下さい。
- ②整理・整頓し、安定した作業場所を確保して下さい。
- ③正しい服装を心掛けて下さい。

## ⚠ 警告

- (1) 本書記載の使用目的及び仕様の範囲を逸脱した使用は、活線ケーブルカッターが破損するなどして思わぬ事故になる恐れがあります。
- (2) 床面の油や障害物で、滑ったり、つまずいたりすると思わぬ事故につながります。
- (3) 保安帽・安全靴・保護手袋・保護メガネなどの保護具を、必ず着用して下さい。

### ●切断作業の基本操作手順

- ①ハンドルを十分に開いて、切断対象材を刃の中央より奥に当てがって下さい。(図参照)
- 切断対象材に対して、活線ケーブルカッターが直角となるようにして下さい。
- ②両手でハンドルを閉じるように力を加えることにより、切断対象材の切断ができます。



## ⚠ 警告

- (1) 切断対象材を刃先では、絶対に切断しないで下さい。  
○ 切断対象材の端材が飛散しやすくなります。また、刃先が欠けたりして大変危険です。

### ●日常の点検・メンテナンス

- ①刃が欠けていないか、ボルト類やハンドル類に、損傷が無いかの確認をして下さい。
- もし異常があれば、修理して下さい。

## ⚠ 警告

- (1) 活線ケーブルカッターは、常に点検をし、摩耗・損傷などのある場合は、使用しないで下さい。
- (2) この工具の改造は、絶対に行わないで下さい。
- (3) 修理の知識や技能の無い方が修理されると、工具本来の性能を発揮しないばかりか、思わぬ事故につながる恐れがあります。  
○ 修理は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付け下さい。

株式会社 MCCコーポレーション

株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>

## 活線ケーブルカッタ

## 取扱説明書

活線ケーブルカッタをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

この取扱説明書は、活線ケーブルカッタを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、活線ケーブルカッタをご使用される方が、いつでも取り出してお読みになられるように保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容を良く理解してから、お読み下さい。

<b>⚠ 危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高い切迫した状況が想定される内容を示しております。
<b>⚠ 警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
<b>⚠ 注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

## ■使用目的

主として、銅より線・アルミより線・それらからなるケーブルを切断するための切断工具であり、両手で持って使用します。

## ■仕様

品番	呼び	切断能力	被覆最大径	使用電圧	全長	重量
ZCC0201	No.1	IV150mm <sup>2</sup>	φ22mm	7000V以下	535mm	1.4kg

切断対象材：銅より線・アルミ線・それらからなるケーブル

注) 鋼心入りのケーブルは切断できません。

## ■安全上のご注意

**⚠ 危険**

- (1) ご使用の前に、取扱説明書を必ずよくお読み頂き、使い方を十分理解して下さい。
- (2) 活線の切断は、素手では絶対行わないで下さい。感電事故につながります。
- (3) 活線作業を行う時は、保護具を必ず着用して下さい。
- 労働安全衛生規則に基づく感電防止対策をお取りになってから、切断作業を行なって下さい。

**⚠ 警告**

- (1) 電気工事士資格を持たない人は、絶対に活線作業はしないで下さい。
- (2) 切断作業時は、被切断材が飛散したり、切り口で負傷する恐れがありますので、保護メガネ、保護手袋などの保護具を、必ずご使用下さい。
- (3) 作業時には、飛散した切断対象材が他の人に当たらないよう、十分注意を払って下さい。
- (4) 高所で作業する場合には、工具や切断対象材を落下させないような安全防護対策をお取り下さい。
- (5) ハンドル部に金属粉が付着したり、汚れたりすると耐電圧性能が低下しますので、いつも手入れをしてきれいに保って下さい。
- (6) グラスファイバーハンドルと本体との結合部にガタが生じた場合は、抜ける恐れがありますので、使用しないで下さい。
- (7) 握り部（グリップ）を手で回せる状態になれば、接着効果がなくなっていますので、抜ける恐れがあります。修理または破棄して下さい。

**⚠ 注意**

- (1) 本書の使用目的並びに仕様の項に記載の切断対象材以外の切断には、使用しないで下さい。
- (2) 切断は、刃の中央部より奥の部分で、切断対象材に直角に当てがって下さい。
- 刃の先端部で切断をしたり、こじたりすると、操作性が悪ばかりか、刃が欠けたりして危険です。
- (3) 工具の改造は、工具の性能を損ねるばかりか予期せぬ事態を招きます。絶対に行わないで下さい。
- (4) 活線ケーブルカッタは、ご使用になる前は刃などの各部の損傷・摩耗・緩みなどが無いかの点検を行い異常がある状態での使用はしないで下さい。
- 修理は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付け下さい。
- (5) 軽快に使用して頂くために「動く部分」には、時々注油をして下さい。